

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品・・・定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
学術大会積立資産	23,438,175	195	923,835	22,514,535
合 計	23,438,175	195	923,835	22,514,535

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
学術大会積立資産	22,514,535	(0)	(22,514,535)	—
合 計	22,514,535	(0)	(22,514,535)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具備品	511,977	511,974	3
ソフトウェア	195,740	91,345	104,395
合 計	707,717	603,319	104,398

以上

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、預り金及び前受金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は下記2. に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	19,739,963	21,210,511
前払金	569,525	2,280
未収金	30,000	-
合 計	20,339,488	21,212,791
未払金	32,500	1,285,620
預り金	45,810	27,284
前受金	240,000	320,000
合 計	318,310	1,632,904
次期繰越収支差額	20,021,178	19,579,887

以上